

平成28年度 避難訓練計画表

たきやま保育園

月	日時	設定	火災発見者	ねらい	幼児の活動	留意点
4	6日(水) 10:00~	地震後火災 給湯室	用務員	・ 職員が子供の生命を守る使命を認識する。	・ 紙芝居や絵本を通じて、災害についての話を聞く。	・ 職員同士の係の確認をする。
	27日(水) 10:00~	地震速報		・ 誘導旗・非常ベル・地震速報の音の違いを知る。	・ 実際に、誘導旗を見たり非常ベルの音を聞く。	・ 園児および職員の緊急連絡表を非常持ち出し袋に入れておく。
5	9日(月) 10:15~	地震後火災 (AM) ホール 拡声器使用	主任	・ 活動中、非常ベルの合図で誘導旗のところに集合する。 ・ 放送機器が使用不可の為、拡声器による指示・誘導の避難を体験する。	・ 合図を聞いて保育者の所に集まり、誘導旗の所まで移動する。	・ いたずらに緊張や不安を与えることのないよう、あらかじめ話をする。 ・ 園内の避難コースを教える。 ・ 年齢差・個人差を充分配慮しておく。 ・ 避難経路の再確認を行う。 ・ 地震がおさまってから火災の訓練を行う。
6	2日(木) 8:30~	地震後火災 (AM8時半) 給食室	給食	・ 登園中の避難の仕方を知る	・ 近くにいる保育者の指示により避難する。	・ 激震時の職員の対応について話し合う。
	8日(水) 10:45~	地震速報 (AM)		・ ホールでの誕生会中からの避難を体験する。	・ 保育者の指示により、安全な場所への避難をする。 ・ 避難する際の持ち物等、慌てずに素早く持って移動する。	・ クラス外の避難の方法、持ち物等の持ち出し方法、避難方法をあらかじめ話し合っておく。
7	6日(水) 10:15~	地震後火災 (AM) 給食室	給食	・ 園庭遊び、プール遊び時の避難誘導をする。	・ プール活動時、保育者の指示に従い、安全に避難する。	・ 4つの約束を徹底する。 ・ (1) 押さない (2) 駆けない (3) しゃべらない (4) もどらない ・ ベルの音に慣れ、音を聞いたらあわてずに保育士に注目するように事前に話をしておく。 ・ プールでの避難の方法を話し合っておく
8	2日(火) 14:15~	火災 (PM) 調乳室	給食	・ お昼寝中の速報の避難誘導をする。(サブルームからの避難) ・ 北側からの避難を経験する。	・ 落ち着いて指示を聞き、北側に避難をする。	・ 布団の中に子どもが残っていないかどうかを確認する。 ・ 火災時にはけむりが一番怖いことを知らせる。
	5日(金) 10:45~	地震速報 (AM)		・ プール活動、水遊びの中の避難の誘導を行う	・ プール活動時、保育者の指示に従い、安全に避難する。	・ プールでの避難の方法を話し合っておく
9	6日(火) 16:00~	地震後火災(PM) 引き取り避難訓練	給食	・ 引き取り訓練の方法を知る。	・ 普段の降園とは違うことを知り、引き取りに来た保護者と速やかに帰る。	・ 引き取り訓練について、あらかじめ話をする。 ・ 保護者と引き取り訓練について共通認識がもてる。
10	4日(火) 10:30~	火災 (AM) 調乳室	給食	・ 近隣園外保育時の連絡、避難方法を経験する。また、園内にいる職員の連絡手順を確認する。	・ 避難先では、落ち着いた気持ちで待機する	・ 園外先を確認し通信手段が使用できる場合は、すぐに連絡。安全な場所に待機するように指示する。園内の安全の確認が取れ次第、補助職員が迎えに行く
	20日(木) 15:45~	地震速報 (PM)		・ 大地震を想定し、第二次避難場所(西中学校)への避難の仕方を確認する。	・ 保育者の指示により、安全かつ落ち着いて第二次避難場所へ避難をする。	・ 第二次避難場所の確認を行い、子どもと避難の仕方について確認をする。

11	7日(月) 10:00~	地震後火災 (AM) 調乳室 * 消防車	給食	・ 避難訓練を消防士さんにみてもらう	・ 避難訓練の大切さを知り保育士の指示に従い避難する。	・ 避難の仕方を再確認しながら避難訓練を行い反省をする。
12	6日(火) 11:30~	地震後火災 (AM) 給湯室	主任	・ 食事中の避難についての約束を知る。	・ ベルの音を聞いて、保育者の指示に従って安全なところに身を寄せる。	・ 4つの約束を徹底する。 ・ (1) 押さない (2) 駆けない ・ (3) しゃべらない (4) もどらない
	16日(金) 9:10~	地震速報 (AM)		・ 朝の体操時による避難の仕方を体験する。	・ すぐに活動をやめて職員の指示に従い行動する	・ 子どもたちが放送をきちんと聞いているかを確認する。
1	10日(火) 10:00~	地震後火災 (AM) 団地の上からの火災	給食	・ 北側からの避難を経験する。 ・ 火災の状況を見て指示、避難していく	・ 保育者の指示に従って避難する。	・ 指示系統を確認し、情報を収集しながら避難する。 ・ 北側からの避難の方法を子ども達と確認する。
2	22日(水) 10:00~	大災害 火災 (AM) 給食室	給食	・ 大地震を想定し、第三次避難場所(滝山公園)への避難の仕方を確認する。南門からの避難をする。	・ 保育者の指示により、安全かつ落ち着いて第三次避難場所へ避難をする。	・ 第三次避難場所の確認を行い、子どもと避難の仕方について確認をする。
	1日(水) 16:00~	地震速報 (PM)		・ ホール活動中(乳児クラス)の避難・誘導の方法を知る	・ 地震速報の音を聞いて、保育者の指示に従って安全なところに身を寄せる。	・ 地震速報による子ども達の集中を促す。また身を寄せる安全な場所を瞬時に確保し、子ども達に素早く伝える。
3	21(木) 10:00~	地震後火災 (AM) とんぼ	2歳児	・ とんぼぐみから出火、安全に避難する方法を体験し避難の方法を知る。 ・ 状況を判断し、適切な場所から避難をする。(北側、西門、園庭側)	・ 近くにいる保育者の指示により避難する	・ 傍にいる子どもたちと一緒に避難の仕方を確認する。非常ベルの音と地震速報の音の違いを子ども達と確認する。 ・ 職員間で、1年間で反省する。

平成28年度 消火訓練計画表

	使用消火器	設定	訓練者
4月	給湯室	給湯室から出火	事務所職員・新人職員
5月	給食室	給食室から出火	給食室職員
6月	調乳室	調乳室から出火	ひよこぐみ職員
7月	調乳室	調乳室から出火	ちょうちよぐみ職員
8月	給湯室	水槽コーナーより出火	とんぼぐみ職員
9月	ホール	ありぐみストーブより出火	せみぐみ職員
10月	ホール	すずむしストーブから出火	すずむしぐみ職員
11月	消防署より水消火器借用	消防士による消防訓練	全職員・非常勤職員
12月	ホール	みつばちストーブから出火	みつばちぐみ職員
1月	サブルーム又はホール	サブルーム又はホールより出火	パート非常勤職員
2月	サブルーム又はホール	サブルーム又はホールより出火	パート非常勤職員
3月	サブルーム又はホール	サブルーム又はホールより出火	パート非常勤職員

◎園児への確認事項

おさない
かけない
しゃべらない
もどらない
ちばらない

前月の安全対策委員会で次月の避難訓練のポイント・避難場所等を確認する

消火訓練担当クラスは、設定に応じて消火訓練を実施し、避難訓練記録の一番下の欄の「消火訓練実施記録」に反省と写真を入れてください。非常勤職員の消火訓練については、訓練担当者が入力をする。